

稲作情報

みやぎ仙南農業協同組合
米穀課 0224-55-1590

令和4年7月1日

生育調査結果(6月10日現在)

No	ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	(GM)	平年差	前年差
1	角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/18	5/14	26.6	84	86	102	35	38	6.7	▲ 1.4	▲ 0.7	34.3	▲ 9.9	▲ 9.4
2	大河原町	南部平坦	ひとめぼれ	5/7	5/8	28.0	86	90	363	93	121	7.5	▲ 0.5	▲ 0.6	43.3	▲ 2.2	▲ 5.9
南部平坦「ひとめぼれ」平均				5/12	5/11	27.3	85	88	233	64	80	7.1	▲ 1.0	▲ 0.7	38.8	▲ 6.0	▲ 7.7
3	角田市	南部平坦	つや姫※	5/23	5/20	20.6	65	64	84	53	53	4.6	▲ 1.5	▲ 1.2	—※	—	—
4	村田町	南部平坦	つや姫※	5/4	5/4	26.0	89	90	256	93	91	7.1	▲ 0.8	▲ 0.4	43.1	▲ 4.3	▲ 7.3
5	白石市	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/13	5/15	20.8	78	85	56	53	51	6.1	▲ 0.6	▲ 1.5	27.5	▲ 8.8	▲ 13.2
6	七ヶ宿町	山間高冷	やまのしずく	5/23	5/22	20.5	90	84	104	125	143	4.3	▲ 1.1	▲ 1.5	24.7	▲ 4.9	▲ 8.8

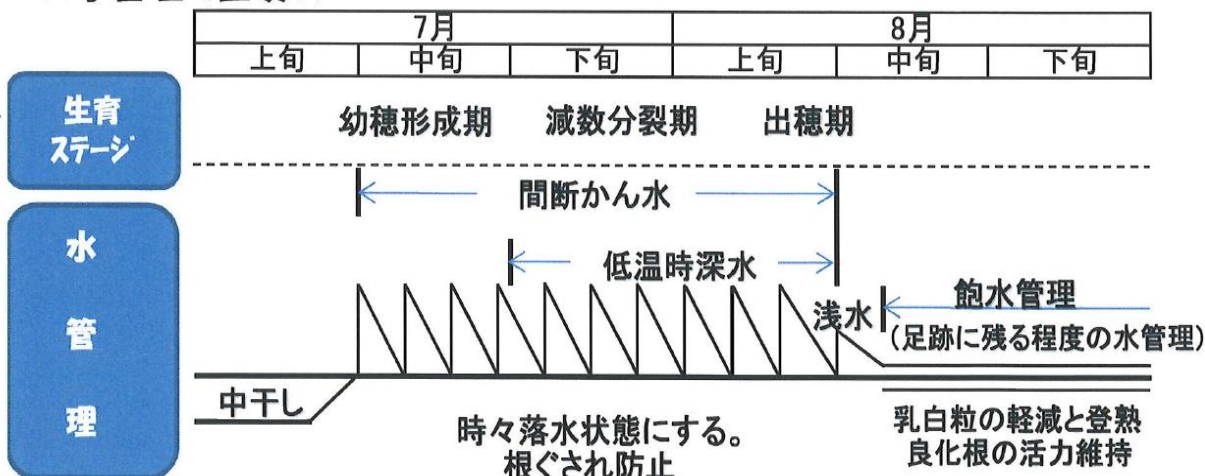
◆平年値は前5か年(H28～R2)の平均値

※角田市「つや姫」は調査4年目のため過去3年の平均値を平年値とした。村田町「つや姫」は調査3年目のため過去2年の平均値を平年値とした。なお、角田市「つや姫」は葉身が細く、葉色を計測できなかった。

- 管内全般に平年よりも草丈は短く、茎数は少なく、生育量は小さくなっています。周期的に低温と日照不足が繰り返されたことと、5月末以降の低温、日照不足により葉の展開と分けつの発生が緩慢だったことが影響していると考えられます。また、葉色が淡いことも生育が緩慢な要因と考えられます。
- これから中干しの時期に入りますが、圃場間の生育差が大きいので、生育の状況を確認し、実施して下さい。
- 茎数の増加が緩慢な圃場は、引き続き茎数の増加につながる水管理を心がけてください。
- 深水を避けて、間断かん水を行ない生育を促進してください。

※大河原農業改良普及センター調べ

★水管理の目安★



追肥の施用について

追肥が必要な圃場については積極的に下記を参考に施用を行いましょう！

【使用肥料：NK化成肥料16-0-18】 ※下記散布量の目安は現物量になります！！

★幼穂形成期の追肥・・・ 穂数の増加が見込めます。

散布時期～出穂の20～25日前(7月上旬～中旬頃)

・ひとめぼれ：6～7kg/10a ・まなむすめ：6～13kg/10a

★減数分裂期の追肥・・・ 千粒重を増やす効果があります。

散布時期～出穂の10～15日前(7月中旬～下旬頃)

・ひとめぼれ：6～7kg(10a) ・ササニシキ：6～10kg(10a)

こだわり米の追肥判断は、おいしい米づくりカレンダーを参照願います。

 追肥判断でお困りの方は米穀課までご連絡ください。

いもち病の発生に注意！

低温、日照不足が続いており、葉いもちが発生しやすくなっています。減収につながるため、圃場をこまめに見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

●予防 コラトップ粒剤(水面施用剤) 3～4kg/10a

●予防防除 ビーム粉剤DLまたは、ブラシン粉剤DL(莖葉散布剤) 3～4kg/10a



・いもちが確認された圃場では、直ちに粉剤または、液剤にて防除してください。

・こだわり米では使用できませんのでご注意ください。やむなく使用した場合は速やかに栽培中止報告書の提出をお願いします。

斑点米カメムシ防除

・薬剤散布は穂揃期とその7～10日後の2回防除が基本になります。

・こだわり米は1回のみの薬剤防除となります。(下記参照)

対象	薬剤名	使用量/10a	使用時期	備考
カメムシ類	キラップ粉剤DL	3～4kg	穂揃期～5日後	いずれか1剤選択(1回)
	キラップフロアブル	1,000～2,000倍		
	キラップ粒剤	3kg	出穂7日前～出穂期	

 **出穂10日前(7/25頃)までに畦畔の草刈を終わらせましょう。** 

●草刈りをきちんと行い、カメムシの幼虫の密度を低下させて、斑点米被害を抑制させましょう。

●出穂期前後に草刈を行うと、カメムシを水田に追い込むことになるので時期を逃さないようにしましょう。

農作業中の熱中症に注意しましょう

 天気予報と体温をチェック	 涼しい服装・安全な作業環境	 こまめな水分補給 こまめな休憩
 急に暑くなる日は要注意です。	 帽子で日差しを遮り、汗を逃がしやすい服装で。	 喉が渇く前に、こまめに水分をとりましょう。
 体調不良時は、無理をしないように。	 作業はできる限り二人以上で。暑いハウスの中は風通し良く。	 こまめに涼しい場所で休息しましょう。

高齢者は要注意！！ 高齢者は、若者に比べると、暑さや喉の渇きを感じにくくなっています。周囲の人にも積極的に声をかけましょう。

熱中症になってしまったら・・・

